

合併特例債の使い道は？

平成18年度から平成25年度までの8年間で道路の整備や学校の耐震化などに約100億円を活用しています。

合併特例債とは？

合併特例債とは、合併した市町村が新しいまちづくりのため、新市建設計画に基づき実施する事業のうち、特に必要と認められる事業に対する財源として、借り入れることができる地方債（借入金）のことをいいます。

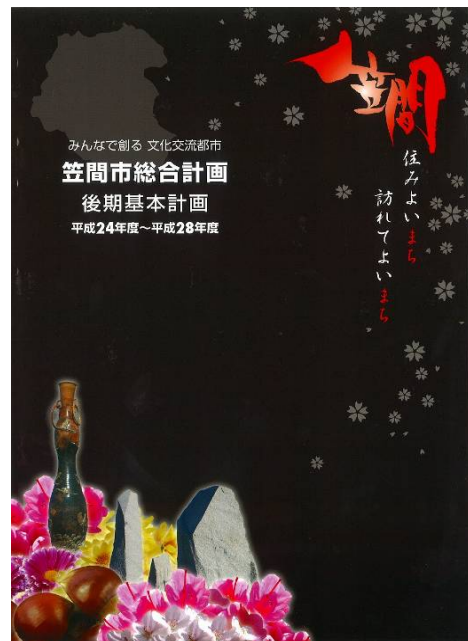
合併特例債は、事業費のおよそ95%まで借り入れることができ、また、将来支払う元利償還金の70%が普通交付税によって措置されるという、非常に有利な財源となっています。

どうして借り入れるの？

その年度の支出は、その年度の収入によってまかなうことが原則ですが、1年間の収入だけでは公共施設を建設するための多額の経費をまかなうことができない場合もあるため、地方債を借り入れます。また10年、20年と長い期間利用される公共施設は、現在の住民と将来の住民とで建設にかかる経費を負担し合うことで、世代間の公平性を図るという性質もあります。

合併特例債などの地方債に安易に依存すると、結果的に将来の負担が増大してしまう恐れがあります。このため将来の財政運営を十分に見通したうえで、合併後のまちづくりとして真に必要な事業を厳選し、地方債の活用を慎重に検討していくことが大切です。

笠間市では、約322億円の合併特例債の活用が可能ですが、合併協議会においてこれをすべて活用するのではなく、新しい笠間市の総合計画に基づいた事業で、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現するため特に必要な事業のうち、真に必要なものを厳選し活用することとしました。

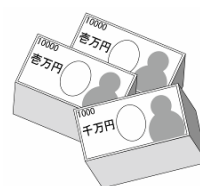


笠間市総合計画
(後期基本計画)

いつまで活用できるの？

合併特例債の活用は、合併初年度を含む10カ年度（笠間市では平成27年度まで）に限られていましたが、法改正に伴い期限を延長することができるようになりました。

現在、笠間市では期限延長の手続きを進めているところです。



平成18年度の使い道は？

合併により新しい笠間市が平成18年3月19日に誕生し、平成18年度から、旧市町を結ぶ道路や岩間駅周辺整備、老朽化が進んでいた小中学校の耐震補強などへの活用がスタートしました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業

友部1級12号線	7,400万円
大淵飯田線	2,500万円
南友部平町線	2,300万円
- ・都市整備事業

岩間駅周辺整備	8,550万円
---------	---------
- ・学校施設等整備事業

友部中学校校舎耐震補強	2億6,160万円
-------------	-----------

平成18年度は、これらの事業などで合計5億2,010万円を活用しました。



市道友部1級12号線（平町・矢野下地内）

平成19年度の使い道は？

前年度から実施していた友部中学校の耐震補強や岩間駅周辺整備に活用しました。またこの年は、市内小中学校8校のトイレ整備（洋式化）などにも活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業

友部1級12号線	1億1,110万円
大淵飯田線	7,680万円
岩間八郷線	5,540万円
- ・都市整備事業

岩間駅周辺整備	2億1,750万円
---------	-----------
- ・学校施設等整備事業

友部中学校校舎耐震補強	3億2,740万円
小中学校トイレ	3,300万円

平成19年度はこれらの事業などで合計10億6,770万円を活用しました。

平成20年度の使い道は？

南小学校の児童クラブ整備や市民センターいわま内への子育て支援センター・公民館・図書館等の整備に活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業

友部1級12号線	1億1,990万円
友部2級10号線	9,970万円
- ・都市整備事業

岩間駅周辺整備	3億9,990万円
---------	-----------
- ・学校施設等整備事業

岩間中学校校舎	3億 310万円
---------	----------
- ・その他

市民センターいわま整備	4,680万円
南小児童クラブ整備	2,610万円

平成20年度はこれらの事業などで合計14億9,320万円を活用しました。

平成21年度の使い道は？

前年より実施していた、道路整備や岩間中学校校舎整備、林道本戸前山線整備などに活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業

岩間八郷線	1億6,710万円
南友部平町線	1億5,930万円
- ・都市整備事業

岩間駅周辺整備	1億9,370万円
---------	-----------
- ・学校施設等整備事業

岩間中学校校舎	4億1,730万円
---------	-----------
- ・その他

穴戸小児童クラブ整備	1,910万円
林道本戸前山線整備	1,140万円

平成21年度はこれらの事業などで合計17億9,110万円を活用しました。



舗装された林道本戸前山線

平成22年度の使い道は？

南友部平町線や友部1級5号線などの道路整備や岩間駅周辺整備、笠間小学校の耐震補強などに活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
南友部平町線 1億3,380万円
友部1級5号線 4,210万円
- ・都市整備事業
岩間駅周辺整備 1億9,770万円
- ・学校施設等整備事業
笠間小学校校舎耐震補強 1億2,320万円
岩間中学校校舎 7,340万円

平成22年度はこれらの事業などで合計8億4,920万円を活用しました。



岩間中学校の新校舎

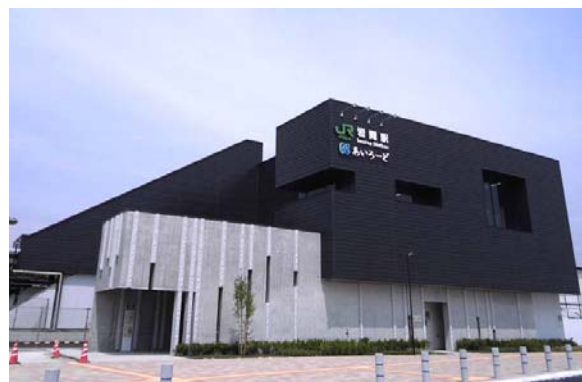
平成24年度の使い道は？

来栖本戸線等の道路整備、笠間学校給食センター整備、岩間駅周辺整備や笠間市民体育館整備などに活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
来栖本戸線 6,740万円
- ・都市整備事業
岩間駅周辺整備 4億1,790万円
- ・学校施設等整備事業
笠間学校給食センター 7億7,910万円
- ・その他
まちづくり振興基金積立 4億7,500万円
笠間市民体育館整備 6,510万円

平成24年度はこれらの事業などで合計21億8,190万円を活用しました。



岩間駅駅舎・自由通路

平成23年度の使い道は？

笠間中学校の耐震補強、児童館の整備に活用しました。また、この年から、合併特例債を活用したまちづくり振興基金への積立が始まりました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
南友部平町線 6,860万円
笠間小原線（桂町工区） 3,930万円
- ・都市整備事業
岩間駅周辺整備 1億2,900万円
- ・学校施設等整備事業
笠間中学校校舎耐震補強 8,710万円
- ・その他
まちづくり振興基金積立 4億7,500万円
児童館整備 1億1,170万円

平成23年度はこれらの事業などで合計11億3,380万円を活用しました。

平成25年度の使い道は？

狭あい道路整備、岩間駅東大通線延伸部整備、北山公園散策路整備(新池)等に活用しました。

○主な活用事業

- ・道路整備事業
狭あい道路 6,420万円
- ・都市整備事業
岩間駅東大通線延伸部 7,310万円
笠間稲荷門前通り 5,020万円
- ・学校施設等整備事業
笠間学校給食センター 2,980万円
- ・その他
まちづくり振興基金積立 4億7,500万円
北山公園散策路整備(新池) 1,690万円

平成25年度はこれらの事業などで合計10億5,750万円を活用しました。

平成26年度の使い道は？

前年からの継続事業のほか、友部1級7号線（美原）、友部駅周辺整備（地区道路）、地域交流センター整備、笠間芸術の森周辺整備、認定こども園整備などの新たな事業にも活用する予定です。

○主な活用事業

・道路整備事業	
友部池野辺線（池野辺工区）	8,310万円
南友部平町線	6,740万円
笠間小原線（桂町工区）	6,000万円
・都市整備事業	
岩間駅東大通線延伸部	7,630万円
笠間稲荷門前通り	4,860万円
笠間地区市街地浸水対策	3,220万円
・学校施設等整備事業	
岩間中学校部室棟	2,020万円
岩間二小屋内運動場	1,970万円
・その他	
まちづくり振興基金積立	2億6,600万円
北山公園バーベキュー場整備	4,880万円
笠間芸術の森周辺整備	3,320万円

平成26年度はこれらの事業などで合計11億7,310円を活用する予定です。



地域交流センター【イメージ図】



北山公園散策路

今後の使い道は？ （平成27年度～）

現在まですすめてきた幹線道路の整備事業や、地域交流センター整備、認定こども園整備などに活用する予定です。

○主な活用事業

・道路整備事業	
来栖本戸線	2億3,650万円
南友部平町線	2億600万円
友部2級5号線 *注 （随分附～鯉淵）	1億5,940万円
・都市整備事業	
友部駅周辺整備 *注	1億5,280万円
岩間駅東大通線延伸部	6,830万円
笠間地区市街地浸水対策	6,330万円
・その他	
認定こども園整備 *注	5億6,810万円
地域交流センター整備	4億2,960万円
笠間芸術の森周辺整備	6,840万円

合併特例債は、元利償還金の70%が普通交付税によって措置される、非常に有利な財源ですが、借入金であることに変わりはありませんので、真に必要な事業を厳選し、有効に活用していきます。

※合併特例債の適用期間の延長について

東日本大震災により被災した自治体の合併特例債の適用期間を合併後20年間に延長することができる制度改正がありました。この法改正を受けて、笠間市では期間延長の手続きを進めています。

*注：延長計画が承認された際の見込み額です。



笠間小原線（桂町工区）

《 合併特例債活用事業一覧 》

○道路整備事業 51億3,200万円

事業名	事業年度	事業費	総借入額（予定含む）
笠間小原線	H18~H20	1億7,800万円	8,450万円
友部1級3号線	H18~H21	3億5,600万円	1億6,910万円
友部1級12号線	H18~H21	9億1,970万円	4億2,430万円
岩間1級12号線	H18~H21	1億7,530万円	9,680万円
岩間八郷線	H18~H21	5億2,130万円	2億7,380万円
友部池野辺線	H18~H22	5億5,070万円	2億6,890万円
友部2級10号線	H18~H22	5億2,430万円	2億5,180万円
大淵飯田線	H18~H22	5億8,790万円	2億8,990万円
上町大沢線	H18~H25	4億9,790万円	3億 300万円
南友部平町線	H18~H27	12億5,000万円	7億8,670万円
来栖本戸線	H19~H27	12億 260万円	5億5,920万円
友部1級11号線	H21	3,900万円	1,660万円
荒町駅前線	H21	3,500万円	1,490万円
才木友部線	H21~H22	2億2,020万円	9,410万円
友部1級8号線	H21~H22	6,310万円	2,680万円
寺崎飯田線	H21~H23	6,290万円	2,700万円
友部1級5号線	H21~H27	4億7,190万円	2億 420万円
笠間小原線(桂町工区)	H21~H27	5億7,860万円	2億5,650万円
友部2級6号線	H22~H25	1億3,090万円	5,690万円
狭あい道路整備	H22~H30	(5億1,050万円)	(2億5,310万円)
友部2級11号線	H23~H24	2,850万円	1,210万円
友部1級11号線	H23~H25	9,470万円	4,170万円
市道(笠)2336号線 (ギャラリーロード)	H23~H27	1億3,740万円	9,830万円
岩間八郷線(山根工区)	H25~H26	1億2,870万円	5,570万円
友部2119号線	H25~H27	2億 700万円	9,160万円
友部池野辺線(池野辺工区)	H25~H27	1億2,500万円	1億1,860万円

*金額が()で括られているものは、延長計画が承認された際の見込み額です。

事業名	事業年度	事業費	総借入額（予定含む）
友部2級5号線	H25~H29	（4億9,440万円）	（2億1,870万円）
友部1級7号線	H26~H27	8,600万円	3,720万円
計		101億7,750万円	51億3,200万円

○都市整備事業 25億3,590万円

岩間駅周辺整備	H18~H24	23億6,620万円	16億4,120万円
稲田駅前トイレ	H20~H21	1,000万円	950万円
岩間駅東大通線延伸部	H21~H27	8億2,470万円	3億4,150万円
岩間公共広場	H22	780万円	330万円
岩間駅東土地区画整理	H22~H25	1億4,980万円	6,380万円
笠間地区市街地浸水対策	H23~H27	2億2,100万円	1億3,680万円
笠間稲荷門前通り	H24~H27	3億5,220万円	1億5,630万円
友部駅周辺整備（地区道路）	H26~H30	（3億1,030万円）	（1億7,690万円）
安居・押辺地区整備 （区画道路2号線）	H26~	700万円	660万円
計		42億4,900万円	25億3,590万円

○学校施設等整備事業 26億4,150万円

友部中学校校舎耐震補強	H18~H19	8億550万円	5億8,900万円
小中学校トイレ	H19	3,480万円	3,300万円
友部中学校屋内運動場 耐震補強	H20	4,150万円	2,190万円
岩間中学校校舎	H20~H22	13億9,170万円	7億9,380万円
友部第二小学校屋内運動場 耐震補強	H21	3,710万円	560万円
穴戸小学校校舎耐震補強	H22	730万円	690万円
笠間小学校校舎耐震補強	H22	2億2,510万円	1億2,320万円
岩間第三小学校屋内運動場 耐震補強	H22	4,090万円	2,700万円
笠間中学校校舎耐震補強	H22~H23	1億5,410万円	9,750万円
友部第二小学校校舎耐震補強	H23	890万円	840万円
稲田小学校校舎耐震補強	H23	840万円	790万円
笠間学校給食センター	H23~H25	9億3,040万円	8億2,280万円

*金額が()で括られているものは、延長計画が承認された際の見込み額です。

事業名	事業年度	事業費	総借入額（予定含む）
穴戸小学校屋内運動場 耐震補強	H25	4,690万円	4,360万円
稲田小学校屋内運動場 耐震補強	H25	1,410万円	1,100万円
岩間中学校部室棟	H25~H26	5,050万円	3,020万円
岩間第二小学校屋内運動場 耐震補強	H26	2,080万円	1,970万円
計		38億1,800万円	26億4,150万円

○その他 32億5,740万円

市民センターいわま整備	H20	5,250万円	4,680万円
小学校児童クラブ整備	H20~H21	6,570万円	4,520万円
林道本戸前山線整備	H20~H21	5,180万円	2,450万円
児童館整備	H22~H23	1億4,350万円	1億1,410万円
北山公園散策路整備（新池）	H23~H25	7,690万円	3,300万円
まちづくり振興基金積立	H23~H26	17億8,000万円	16億9,100万円
友部公民館石綿除去	H24	570万円	360万円
笠間市民体育館整備	H24	2億 240万円	6,510万円
北山公園バーベキュー場整備	H25~H27	1億5,350万円	8,790万円
地域交流センター整備	H26~H27	6億4,000万円	4億4,610万円
笠間芸術の森公園周辺整備	H26~H27	1億 700万円	1億 160万円
認定こども園整備	H26~H28	（6億3,240万円）	（5億9,850万円）
計		39億1,150万円	32億5,740万円

合計	221億5,600万円	135億6,680万円
----	-------------	-------------

現在までに事業を予定しているものを掲載しています。今後事業を開始するものについては、来年度以降、順次追加掲載します。

○合併特例債起債可能上限額 笠間市の上限額 約 322億円 現在の借入（予定）額 約 135億円 （現在予定している借入の総額です。 起債可能上限額の約 42%となります。）	○まちづくり振興基金への積立 笠間市の上限額 約 26億7,000万円 現在の予定額 約 17億8,000万円 （積立上限額の約 67%となります。）
---	--

*金額が（）で括られているものは、延長計画が承認された際の見込み額です。